

すとおりは、自主製品の製造・販売やリサイクルセンターを運営する就労継続支援B型と、依存症からの回復プログラムなどを学ぶ生活訓練からなる、多機能型の依存症回復施設です。アルコールや薬物、ギャンブルなどをやめる意志がある仲間の居場所となっています。

今号ではメンバーさん自身による「すとおりでやっていること」を中心にご報告させていただきます。

## 1. 主な活動状況

### <K.Fさん(就労継続支援B型)>

僕は2023年の12月に生活訓練から就Bに移るのですが、一日中立ちっぱなしなので足は疲れるし、掃除なども汚くてやりたくないし、朝も早く起きて起きれないと様々な言い訳をして、4月までは週3日程度しか通えませんでした。

でも、自分が汚れ仕事を嫌がってやらないと他の人がやらなきゃならないし、結局休む言い訳を探している自分が、薬を飲むための言い訳を探していた自分と何も変わっていないと気づき、今ではできる限り自分の仕事は真面目にやるようにしています。それに、週6日フルで行けるとみんな褒めてくれますし、逆に誰も見ていないようなことでも、善い事をするとう気持ちがいいものです。

僕は現在紙漉き班で、この前ようやく初めて週6日通所することができました。正直今でも休みたくなる時もあるし、毎日朝起きるのはキツイです。でもとにかく今日だけ、やるべきことをがむしゃらにやろうと思い、体を動かしています。

### <K.Iさん(就労継続支援B型)>

私が「すとおりで」行っていること、それは断酒です。そのために「すとおりに」通っています。「すとおりで」では、断酒のリハビリテーションと同時にリサイクルセンターの運営も行っています。断酒を継続させるために、リサイクルセンターを運営して、昼間のやるべき仕事と、居場所を作っているのです。そして私はその運営に参加して断酒を継続することができているのです。そんな中で、リサイクルセンターがご近所からの寄付を商品として販売していることについて、いくつか感想を述べます。地域の人々が不要物を寄付し、それがリサイクルセンターで再利用されることで無駄を減らし、環境保護にも役立っていると思います。一方で寄付される物品の品質や状態がまちまちであるため、商品の選別や清掃に手間がかかります。また需要に合わない商品が多く集まることもあり、在庫管理にも苦勞をしています。加えて店の独自製品でもある石ケン作りも参加しています。これらのことで断酒を継続させています。

### <Y.Iさん(就労継続支援B型)>

私が「すとおりで」行っていること、それは、アルコール依存症を治していくためです。

普段は、何事もなく過ごしていますが、いったんスイッチが入る時がありまして、どうしても飲みたくなる時がたまにあります。

そういう時には、「すとおりで」に通所している事で、そのスイッチが切れます。自分でもホッとします。

そもそも私がアルコール依存症になってしまったきっかけと言えば、母が和風スナックを営んでいて、その手伝いをしていたことによります。何度も病院に入院していて、その入院先で「すとおりで」を紹介してもらって、一度先生と見学をしてそこで決めました。

ここならなんとかなると思ったからです。

二年間生活訓練をへて、それから今の就労訓練に移り、普段は接客とか、お客さんの寄付された物をきれいにしたりして、ひまな時間を作らないようにしています。

ひまな時間があるとお酒のことを考えてしまうからです。本当に「すとおりで」には感謝しかありません。このまま、いまの生活をつづけていきたいと思っています。



<M.Iさん(就労継続支援B型)>

私が「すとおりの」で行っていることは、寄付していただいた物をみがいたり、家具にキズがあったりしたら、その補修などをすることです。また、洋服の品出し、食器洗いなどです。食器を洗ってるとき欠けなどないか見ながら丁寧に洗っています。

あとは、配達、引き取りなど、リヤカーで行っています。外の空気がすえるので好きな作業です。今一番がんでいるのは紙漉き作業です。紙を漉いたり、漉いた紙を、ごみが入っていないか検品したり、ローラーにかけたりしています。

その他は、年に一度の宿泊研修が楽しみです。

<M.Nさん(就労継続支援B型)>

私が行っていることは、自主製品「すご腕くん」石鹸作りです。6週間乾燥させ、型抜き、検品・成型・梱包・シール貼りをし、商品として店や世田谷の地域にも販売をしています。私も自宅で石鹸を使用しています。

それと、店の中では、値付けしたり、棚の整理・整頓の作業をしております。棚の整理は、お客様目線で考え、どのように買って頂くか、を意識しながら整えています。やはり見た目が大事だと思っております。実際やってみても、難しいけど、試行錯誤しながらやっています。

私も、他の店に行って観察をし、「すとおりの」の店でもやっています。やはり綺麗に見えることが大事です。(お客様目線で。)

磨きも、同じ事です。品物によりますが、何の洗剤を使うのか？何の道具を使うのか？色々考えながら作業を行っています。作業は、大変で嫌ですが、今後の私にとっても貴重なことになるだろうと思いつつやっています。これからも日々大切に無理のない範囲で、ゆっくり歩めればと思っています。

<Y.Nさん(就労継続支援B型)>

私は、「すとおりの」に週6日通所しているのですが、私がそこで行っていることについて記します。

「すとおりの」では様々な寄付品を持ち込んで頂いたり、こちらからリヤカーを引いて寄付品を受け取りに行くことがあるのですが、その際に提示された寄付品を有効に再利用できるかを考慮して、受け取りの判断をする仕事や、英語が得意なので外国人のお客様の接客であったり、対応を任されています。あとコンピューターが得意なので、寄付品に値付けをする際に様々な検索をかけて、その寄付品の市場での値段、新品であるか、劣化の具合を考慮したうえで商品の値段を付ける仕事を任されています。それ以外では、寄付品のクリーニング、具体的には細部の汚れを取り、出来る限り良い状態でお客様に提供できるようにベストを尽くしています。

わたしは、「すとおりの」に関わることで、自分自身の再生であったり、さらなる飛躍を望んでいるので、その気持ちを込めながら作業に励んでいます。

<Y.Sさん(就労継続支援B型)>

私は紙漉きと云う作業を主にしています。

紙漉きとは、牛乳パック等を乾かしたのち表面と裏側の防水された紙状のものを剥がし、中心の純粋な紙の部分だけを取りだします。

それをシュレッダーで細かくしたあと、1日中攪拌機にかけてから、手作業で名刺やハガキ等に仕上げていきます。

文字にすると簡単に説明が出来ますが、実際は繊細な作業で、注意を怠ると製品にはならず、売り物として店頭と並べることが出来なくなってしまいます。

この作業をして嬉しいのは、自分が作った商品が目の前でお買い上げ頂いた時には心が躍ります。

その他の作業としては地域の皆様からご寄付していただいたものを磨いたり、接客に当たることもあります。

接客ではお客様とのふれあいを大切に、常連の方とは冗談を言い合ったり、新規のお客様には再び「すとおりの」に来店していただけるように、丁寧な接客に努めています。

最後に、この「すとおりの」を利用している十数名の仲間たちと、スタッフに支えられ、充実した楽しい毎日を送らせて頂いています。

<T.Sさん(就労継続支援B型)>

私が携わっている作業は、「磨き」と呼ばれる寄付していただいた品々を「すとおりの」の商品として再生し、次のお客様にお渡しできる様にするための作業だと考えています。

修復できない箇所、再生による劣化等、私の技術では太刀打ちしかねる品々に苦戦することも少なくありません。

それでも、諸先輩方の経験、知識、技術をお借りしながら自分なりの「磨き」を見つけていきたいと思っています。

ぜひ一度、私達の手がけた品々を見に来て頂けたら、嬉しいです。

### <H.Yさん(就労継続支援B型)>

私は今、接客と近隣の方々からご寄付をして頂いた品々を店頭に出せるように、洋服などはほつれがないか、ボタンが取れていないかを確認してから、補修が必要なものは、拙い手でもあり老眼が進んでいますが、スタッフの方に指導してもらいながら商品として出せる準備をすすめています。

他には食器などのご寄付もあり、欠けがないかを確認して、汚れは当店自慢の石鹸「すご腕くん」で落として並べています。

他にも様々なご寄付があって、ベビー用品からアクセサリーやハンドバッグ、姿見等など、かぞえ切れない物で溢れかえっています。

その中でも私が磨いた物を店頭に並べて直ぐにお買い上げ頂いた時には、飛び跳ねんばかりに嬉しくてスタッフや同じ利用者にドヤ顔することもあります。

毎日楽しく「すとおりの」を利用しています。

### <M.Yさん(就労継続支援B型)>

生活訓練二年を経て、就Bに移って現在六年目に入りました。最初は食器洗いに専念しました。家で食器を洗うようではなく、実際は食器を磨くと言った作業を行っています。また、ウェスを作る作業もしています。ウェスを大きく切ったり小さく切る作業もしています。手が痛くなりますがやりがいのある作業だと思います。リサイクルで引き取ってきた、衣装のケースを磨く作業も楽しいです。自分の今のメインとしてやっている仕事はポチ袋、多当袋の線引き、組立、デコレーション封入等を行っています。後は牛乳パック、酒パックのはがし牛乳パックのカット等を行っています。

### <Y.Aさん(生活訓練)>

今、わたしは「すとおりの」の生活訓練に通って、半年弱になります。

通い始めた頃より、ミーティングを中心に、依存症の回復を目指しています。

ミーティングでは主にテキストの読み合わせをしています。テキストを読み合わせた後、わたしが感じた事を担当のスタッフに伝え、フィードバックをもらうというやりとりを、ほぼ毎日行っています。

また、自分の過去の事や、依存症以外の障害の事など、感じた事をその都度に言葉にして伝えると、担当スタッフから経験豊かなフィードバックを貰っています。

依存症の回復を目指していますが、今はソーバーか月の壁を越えられず、スタッフとやりとりを繰り返す毎日です。

他に、簡単な工作物や、料理、ヨガなどのプログラムがあり、特に料理のプログラムは、毎回、苦戦しながらも楽しく行っています。

ここでの生活訓練で得た事が、わたしの生活に組み込まれるまで、少し時間がかかると思いますが、一か月の壁を越えられない事もあり、わたし自身に対して焦る事も多くあります。

そんな時、「すとおりの」のミーティングで習った言葉を思い出します。

「ゆっくりやろう、でもやろう」

まだ、依存症の回復は遠い道のりですが、この言葉を思い出しながら、毎日を過ごせれば、幸いだと思っています。



## 2. メンバー状況(令和6年6月現在)

- ・生活訓練 2人 ・就労継続支援B型 12人
- <男女構成>
- ・男性 13人 ・女性 1人
- <年代>
- ・20代0人 ・30代2人 ・40代1人 ・50代8人 ・60代以上3人
- <アディクション>
- ・アルコール 9人 ・薬物 4人 ・ギャンブル 4人 (重複あり)
  
- ・就労した者 2人(令和4年10月より)

## 3. 令和5年度貸借対照表

### 令和5年度 貸借対照表 令和6年3月31日現在

東京都世田谷区桜新町1-8-6  
特定非営利活動法人 STORY  
理事長 有信 雅子

(単位：円)

科 目		金 額
資産の部	流動資産	27,370,604
	固定資産	41,997,593
	資産合計	69,368,197
負債及び正味財産の部	流動負債	4,021,451
	固定負債	1,176,114
	負債合計	5,197,565
	前期繰越正味財産	68,157,528
	当期正味財産増減額	-3,986,996
	正味財産合計	64,170,532
	負債及び正味財産合計	69,368,097

## 4. 編集後記

今年の夏も暑くなるそうで。そうなると、だらしのない生活の言い訳にする依存症者も多いのではないのでしょうか。私です(笑)。初めまして、新人スタッフのZです。御多分に漏れずアルコール施設の入院、カウンセリングを経て、今年一月よりお世話になっております。何分、まだ毎日のAA通いを続けている身、通所してるメンバーの皆さんには勝手に仲間意識を感じ、雑談にも普通に混ざって今一つ自覚がないと怒られそうなところですが、でも、ソーバーを続け、毎日健康に気をつけながら生活しています。通所してる皆さん、自分のことを知ってくれてる皆さんにも、こんな風に回復して役に立つヤツがいると認めていただけるまで頑張りたいと思っております。この通信も「すとおりい」という素敵な施設について情報を発信し、たくさんの皆さんの幸せにつながるきっかけになればと思っております。気になる点などありましたら、どしどし声をお寄せください。それでは次回、9月号で。

## 5. 会員募集のお知らせ

特定非営利活動法人STORYの趣旨にご賛同、ご支援頂ける会員の方を募集しています。

①正会員：当法人の目的に賛同して入会される方および団体

入会金 5,000円

年会費 3,000円

②賛助会員：当法人の事業を賛助するために入会される方および団体

入会金 3,000円

年会費 1,000円

郵便振替口座

口座番号 00100-3-591769

口座名義 特定非営利活動法人STORY